# 『オーラルコミュニケーション 』シラバス

科目名	学 科	学 年	必修/選択	単 位 数
オーラルコミュニケーション	全 学 科	2 年	必修	2 単位

## 1.科目目標と使用教材

	外国の人々の生活文化や習慣など異文化を理解し認めようとする姿勢を持ち、実生活
科目目標	で活用できるような英語力の習得し、英語を話したり異文化について知ることの楽しさ
	を理解することを目指します。
使用教材	Sailing Oral Communication (啓林館)

### 2. 学習計画

۷.	字省計画	
学期	学 習 項 目	学 習 目 標
	· Warm-up 1 English Around	・自己紹介の基本的な表現を身に付けましょう。
1	the world	
	· Warm-up 2 People Around	・他人紹介、感情の表現の基本的な表現を身に付けまし
学	Us	ょう。
	Warm-up 3 Emotions	
期	· Warm-up 4 Responses	・会話の応答の基本的な表現を身に付けましょう。
	· Lesson 1	・学校生活について話したり予定を述べる表現を英語で
	What Day Is Convenient	理解しましょう。
2	for You?	
学	· Lesson 2	・ 休日の感想を聞いたり、述べたりする英語の表現を身
	How was Last Sunday?	に付けましょう。
期		
	· Lesson 3	・ 道案内をしたり、ものの位置を表す基本的な語彙や
	How Can   Get There?	英語の表現を身に付けましょう。
	· Lesson 4	・ 電話特有の応答の仕方、勧誘表現を学習し定着させま
	Who Calling, Please?	しょう。
3	· Lesson 5	・飛行機の中での依頼表現、海外旅行で必要な基本的な
	Could   Have an Extra	表現を学びましょう。
学	Blanket?	
	· Lesson 6	・買い物をするときに商品の色・サイズなどを説明した
期	May I Help You?	り尋ねる表現を学びましょう。

#### 3. 学習方法

- ・授業はゆっくり進めますから、しっかり聴けば必ず理解できます。
- ・分からないときは必ず質問して下さい。基本に戻って分かるまでじっくり説明説明します。
- ・質問や意見は大歓迎ですから能動的になって、繰り返し音読したり書いたりしましょう。
- ・プリント学習が中心になります。プリントは要点をまとめるために使用します。プリントは 定期テストの勉強と毎日の宅習に活用してください。

#### 4.評価の観点

	·
関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、英語を聞いたり話したりして積極的に言 語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。
思考・判断	日常生活の身近な話題について、比較的平易な英語を聞いて、情報や考えなどを相手が伝えようとすることを理解する。
技 能 ・ 表 現	日常生活の身近な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、発表したりして表現する。
知識・理解	日常生活の身近な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用について、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。

#### 5.成績評価

	1					
	中間	定期考査 (素 点) 70%	提出物	平 常 授業態度 1 0 %	点 出 席 10%	%
1・2 学期	期末	定期考査 (素 点) 70%	提出物	平 常 授業態度 1 0 %	点 出 席 10%	%
3 学期	学年末	定期考查 (素 点) 70%	提出物	平 常 授業態度 1 0 %	点 出 席 10%	%

#### 6.生徒の皆さんへ

オーラルコミュニケーション の授業では定期考査でリスニングテスト(30点)を行います。 またALTの先生とのテイームテイーチング様々なコミュニケーション活動を行います。